

認知心理学の視点から捉える 日本語学習者研究の新展開

日本語学習者がどのように言語情報を知覚し、理解しているのか—— 学習者の「認知的な側面」に焦点を当てた研究を紹介します。実験デザインの工夫やデータ分析の方法、そこから見えてきた学習者の様相などを紹介します。

これらの研究が実際の日本語教育現場に、どのように貢献できるかを議論していきます。

「聴解時の認知過程・聴解ストラテジー」

費曉東 (北京外国語大学北京日本学研究センター 副センター長)

「通訳過程における認知制御と言語処理」

宋啓超 (北京外国語大学日本語学部 講師
/ 学習院大学東洋文化研究所 客員研究員)

「文脈情報と語彙処理研究の多角的なデータ指標」

柳本大地 (学習院大学国際センター 准教授)

「単語の処理研究と実験デザイン構築プロセス」

林曉雯 (北京外国語大学日本学研究センター 博士前期課程在学
/ 東京大学人文社会系研究科心理学研究室 外国人研究生)

- ・ 日時：2025年7月24日（木）14:00～17:30
- ・ 場所：学習院大学 北2号館10階 大会議室
- ・ 入場無料／事前申し込み制（定員：40名）

お申し込みは以下のQRコードから↓↓

(共催) 学習院大学文学部日本語日本文学科 / 学習院大学文学会

学習院大学東洋文化研究所

/ 学習院大学国際センター

mail: daichi.yanamoto@gakushuin.ac.jp

